

令和2年度春季・冬季研修会中止に伴う代替資料の掲載にあたって

昨年度末からのコロナウイルスの感染拡大により、これまで当たり前だった生活スタイルがこれほど大きく変わることになるとは思いもよりませんでした。今も続く感染拡大のなか、本研究会の活動も本年度は研修会を中止するなど足踏みをせざるを得ない状況になりました。

本年度の夏は、高知県にて第23回四国地区公立小中学校事務研究大会（高知大会）を開催する予定で準備を進めておりました。記念講演には、高知県を起点に活躍され様々なイベントを企画し、高知県を元気にしてくれる安藤桃子さんをお呼びするように連絡を取り合うなど、四国大会の開催には意欲的でしたが、学校の休業延長やコロナの感染状況を踏まえて、参集による開催の中止の決定をいたしました。その後も春季研修会、冬季研修会、また研究会の研究など私たちの学びの場である各研修会も、開催できる方法を模索しましたが、コロナに感染しない、感染させないことを考慮した結果、開催中止の判断をいたしました。本年度の研修会は全て開催できませんでしたが、少しでも皆様の学びに役立てないかと思い、春季や冬季研修会に予定していました研修内容を、研究会のHPにて資料提供するかたちで掲載をすることにしました。また、学校事務支援室等連絡協議会の皆様からも資料提供をしていただき、ありがとうございました。

このような状況の中、学校ではコロナ予算への対応や学校内外での感染症対策など、私たち事務職員にも感染防止に対する対応が求められ、各校においては学校事務の視点から役割を果たされてきたことと存じます。まだまだ感染が収まらない状況ですが、私たちには将来を予測しての対応が常に求められています。今回の状況を受けて経験したことを大切に、それぞれの地域でこれからもご活躍していただきたいと思います。

また、来年度から私たち学校事務職員の呼称が、教育事務職員に変わります。表現は変わっても、私たちが高知県の教育を担っていく職員であることには変わりはありません。これからも高知県の子どもたちのために、私たちの使命を意識して役割を果たしていきましょう。

令和3年2月1日

高知県公立学校事務研究会
会長 大崎 由香